

## 平成 16 年 10 月期 第 3 四半期業績の概況(非連結)

平成 16 年 8 月 23 日

上場会社名 日本ロングライフ株式会社  
 (URL <http://www.j-longlife.co.jp>)  
 問合せ先 代表者 代表取締役社長 遠藤 正一  
 責任者 取締役管理本部長 大植 史義

大阪証券取引所ヘラクレス市場  
 コード番号：4355  
 (TEL (06) 6458 - 7131)

### 1. 四半期業績の概況作成等に係る事項

会計処理の方法の最近会計年度における  
 認識の方法との相違の有無 : 有  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無  
 公認会計士または監査法人による関与の状況 : 無

### 2. 平成 16 年 10 月期第 3 四半期(平成 15 年 11 月 1 日～平成 16 年 7 月 31 日)の業績

#### (1) 経営成績の進捗状況

(単位：百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年10月期3四半期	1,893	28.3	245	18.3	220	10.4	115	6.0
15年10月期3四半期	1,475	32.0	207	76.1	200	118.4	108	91.7
(参考)15年10月期	2,088		329		326		178	

	1株当たり 四半期(当期) 純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
16年10月期3四半期	4,595	75	4,559	18
15年10月期3四半期	9,557	93	-	-
(参考)15年10月期	15,649	22	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は対前年同四半期比増減率を表示しております。

期中平均株式数 16年10月期第3四半期 25,078.85株 15年10月期第3四半期 11,380.47株 15年10月期 11,383.74株

#### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成15年11月1日～平成16年7月31日)におけるわが国経済は、大手企業を中心として設備投資や輸出が依然拡大基調にあり企業収益は大幅な改善を見せ、雇用情勢にも好影響を与えるなど着実な景気回復を見せました。

介護サービス業界におきましては、介護保険制度が広く世間一般に定着し、また、急速な高齢化によりマーケットの拡大が期待され、企業間における競争も活発なものとなっております。

このような状況のもと当社では、ホーム介護事業では新規施設の増設、在宅介護事業においてはヘルパーステーションの新設など、市場ニーズに合わせた積極的な事業運営を展開してまいりました。その結果、当第3四半期における売上高は1,893百万円(前年同期比28.3%増)、損益面の営業利益は245百万円(前年同期比18.3%増)、経常利益は220百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

(2) 事業部門別の売上の状況は、以下の通りであります。

(単位：百万円未満切捨)

	16年10月期第3四半期		対前年同期増減率	15年10月期第3四半期		(参考) 15年10月期	
	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
ホーム介護事業	1,369	72.3	33.8	1,023	69.4	1,478	70.8
在宅介護事業	451	23.8	12.3	401	27.2	536	25.7
その他の事業	72	3.9	44.2	50	3.4	73	3.5
合計	1,893	100.0	28.3	1,475	100.0	2,088	100.0

(ホーム介護事業)

ホーム介護事業においては、新たな有料老人ホーム建設の取り組みと積極的な販売活動を展開した結果、ロングライフうつぼ公園及びロングライフ上野芝の既存施設の入居率向上、ロングライフ甲子園口(平成16年4月オープン)、ラビアンローズ上野芝(平成16年6月オープン)の販売が寄与し、売上高は13億69百万円(前年同期比33.8%増)となりました。

(在宅介護事業)

在宅介護事業においては、在宅介護サービス重視の政策に合わせ、今期にヘルパーステーションを8箇所新設し、各地で介護相談会を行い営業面に注力をいたしました。また、介護用品レンタル及び販売事業を当期からはじめ、レンタル事業は徐々に契約が積み上がり成果が現れてきております。その結果、売上高は4億51百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、訪問介護要員1級・2級の養成を行なう「ロングライフ医療福祉専門学院」の運営が中核事業です。介護サービス業界への転職者が増加するなか昨年4月になんば校・三宮校を開校し、この分野の売上高が増加しました。その結果、売上高は72百万円(前年同期比44.2%増)となりました。

(3) 財政状態の変動状況

(単位：百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
16年10月期3四半期	4,959	2,666	53.8	95,965	91
15年10月期3四半期	2,572	1,237	48.1	108,620	35
(参考)15年10月期	2,807	1,306	46.6	114,709	19

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

貸借対照表の変動といたしましては、前年同期末(平成15年7月末)と比較すると、株主資本が2,666百万円と1,429百万円増加し、株主資本比率は53.8%と5.7ポイント上昇しております。これは、今年春の公募増資等による資本金及び資本剰余金の増加並びに利益剰余金の増加によるものであります。

3 . 平成 16 年 10 月期業績予想（平成 15 年 11 月 1 日～平成 16 年 10 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	2,720	450	250	9,703 93

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点での実績を踏まえ、平成 16 年 5 月 24 日に発表しました通期業績予想に変更はありません。  
 なお、上記 1 株当たり予想当期純利益の算出にあたっては、平成 16 年 6 月 18 日付けをもって行われた  
 株式分割（1：2）による株式数の増加を考慮しております。

（注）上記の予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業  
 績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

添付資料

1. 第3四半期財務諸表等

(1) 第3四半期貸借対照表

区 分	当第3四半期末 (平成16年7月31日)		(参考) 平成15年10月期	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1 現金及び預金	326,470		598,485	
2 売掛金	230,875		170,513	
3 たな卸資産	1,293		636	
4 繰延税金資産	19,706		30,256	
5 その他	105,222		33,628	
6 貸倒引当金	-		170	
流動資産合計	683,568	13.8	833,350	29.7
固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物	1,657,939		982,658	
(2) 構築物	129,398		77,746	
(3) 車両運搬具	1,189		1,777	
(4) 工具器具備品	59,958		27,694	
(5) 土地	1,674,758		534,980	
(6) 建設仮勘定	477,912		97,573	
有形固定資産合計	4,001,155	80.7	1,722,432	61.4
2 無形固定資産	4,203	0.1	4,150	0.1
3 投資その他の資産				
(1) 繰延税金資産	16,102		16,976	
(2) 差入保証金	152,567		128,944	
(3) その他	102,070		101,321	
投資その他の資産合計	270,740	5.4	247,241	8.8
固定資産合計	4,276,099	86.2	1,973,824	70.3
資産合計	4,959,667	100.0	2,807,174	100.0

(注) 記載金額については、千円未満を切り捨てて表示しております。

区 分	当第3四半期末 (平成16年7月31日)		( 参 考 ) 平成15年10月期	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
1 買掛金	8,097		6,184	
2 一年以内返済予定 長期借入金	120,000		-	
3 未払金	249,465		102,614	
4 未払法人税等	-		125,000	
5 前受金	1,215,413		1,046,705	
6 賞与引当金	9,974		20,834	
7 その他	73,447		62,064	
流動負債合計	1,676,398	33.8	1,363,404	48.5
固定負債				
1 長期借入金	520,000		-	
2 退職給付引当金	3,904		2,569	
3 ホーム介護 アフターコスト引当金	20,790		21,600	
4 長期未払金	71,981		112,669	
固定負債合計	616,675	12.4	136,838	4.9
負債合計	2,293,074	46.2	1,500,242	53.4
(資本の部)				
資本金	1,100,488	22.2	461,195	16.4
資本剰余金				
資本準備金	1,099,725		460,433	
資本剰余金合計	1,099,725	22.2	460,433	16.4
利益剰余金				
1 利益準備金	8,700		8,700	
2 任意積立金	25,000		25,000	
3 第3四半期(当期) 未処分利益	433,268		352,192	
利益剰余金合計	466,968	9.4	385,892	13.8
自己株式	589	0.0	589	0.0
資本合計	2,666,593	53.8	1,306,932	46.6
負債及び資本合計	4,959,667	100.0	2,807,174	100.0

(注) 記載金額については、千円未満を切り捨てて表示しております。

( 2 ) 第 3 四半期損益計算書

区 分	当第 3 四半期 (自 平成15年11月 1 日 至 平成16年 7 月31日)			( 参 考 ) 平成15年10月期		
	金 額 (千円)	百分比 (%)	金 額 (千円)	百分比 (%)		
売 上 高		1,893,437	100.0		2,088,561	100.0
売上原価		1,196,349	63.2		1,319,163	63.2
売上総利益		697,088	36.8		769,397	36.8
販売費及び一般管理費		452,065	23.9		439,407	21.0
営業利益		245,022	12.9		329,990	15.8
営業外収益						
1 受取利息	46			77		
2 その他	1,707	1,753	0.1	787	865	0.0
営業外費用						
1 支払利息	6,063			42		
2 新株発行費	18,228			411		
3 その他	1,486	25,778	1.3	3,566	4,020	0.2
経常利益		220,997	11.7		326,835	15.6
特別利益						
1 固定資産売却益	26			190		
2 貸倒引当金戻入益	170			140		
3 その他の特別利益	8,511	8,708	0.4	-	330	0.0
特別損失						
1 固定資産除却損	13,692			4,188		
2 固定資産売却損	-			26		
3 賃貸借契約解約損	3,757	17,450	0.9	10,970	15,185	0.7
税引前第 3 四半期(当期)純利益		212,256	11.2		311,980	14.9
法人税、住民税及び事業税		97,000	5.1		133,833	6.4
第 3 四半期(当期)純利益		115,256	6.1		178,146	8.5
前期繰越利益		318,012			174,045	
第 3 四半期(当期)未処分利益		433,268			352,192	

(注) 記載金額については、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は中間財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

(簡便な手続きの内容)

法人税、住民税及び事業税は、税引前四半期純利益に年間予想税金負担率を乗じて計算しております。また、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。